

令和2年度第1回 かごしま外国人材受入活躍推進会議の結果（概要）

外国人材受入活躍支援課

1 日時

令和2年11月11日（水）13:00～14:20

2 場所

鹿児島サンロイヤルホテル2階太陽の間

3 出席者

67名（経済・業界団体，監理団体，有識者等，国，市町村，県）

4 内容

(1) 事務局説明

- ・雇用情勢や外国人労働者の状況について
- ・外国人材受入活躍推進に関する県の取組みについて
- ・技能実習生の在留諸申請や国際的な人の往来再開について

(2) 新型コロナウイルス感染症による影響等について

※（1）及び（2）について，配付資料に基づき事務局から説明を行った。

（質疑なし）

(3) 質疑応答・意見交換（主なもの）

ア 県外国人技能実習生受入組合連絡協議会

- ・9月から実習生の入国が少しずつスタートしたが，待機とか色々なコストが掛かっているため，協議会として県に支援を要望している。
- ・新規の技能実習生を受け入れる実習実施者は，人員の配置計画が狂っている状況。
- ・県内の監理団体のうち，3分の1程度は，運営が困難だと思われる。

イ 県農業協同組合中央会

- ・技能実習生に特定技能として残ってもらうため，農業分野の地域間の問題等を協議する協議会をつくった。
- ・コロナの影響はあるが，県には，3年から5年先を見据えて，各業界を支える事業をしっかりと取り組んでもらいたい。
- ・農業分野においては，県域を越えた地域間の労働力の調整について，農林中金，全農，全中等と協議を進めているところ。

ウ 県医師会

- ・外国人介護人材の受入れについて，大きな事業体はすでに動いているが，中規模から小規模の事業体に対する救済を考える必要がある。特定技能のモデル事業には期待している。

エ 県飲食業生活衛生同業組合

- ・ 特定技能（外食業）は、今後5年間で当初53千人を見込んでいたが、現状は全国で600人程度。県内は2人に留まっている。
- ・ 技能実習移行対象業種に外食業を加えてほしいと考えているが、国等への働きかけは行っていない。現在は、協議をしてもらうための取っかかりを探しているところであり、そう菜加工の技能実習生を活用できないかなど考えている。

オ 鹿児島大学法文学部

- ・ 伊佐市やさつま町、大崎町では、人口が激減する中で、外国人技能実習生と共生を図るほかない状況である。

カ 県警組織犯罪対策課

- ・ 在留外国人向けに交通安全教室や生活指導等を行っている。
- ・ 近年はベトナム人の犯罪が増加傾向にある。

キ 枕崎市

- ・ 本市においては、技能実習生のレジデンスステイ費用等の一部を補助している。

ク 鹿屋市

- ・ 昨年度好評だったセミナーについては、今年度はコロナの影響で開催を見送った。多言語パンフレットについては、今年度も配付予定。

ケ 福岡出入国在留管理局

- ・ 11月9日現在の全国の特定技能1号の人数は7,538名である。

以上